



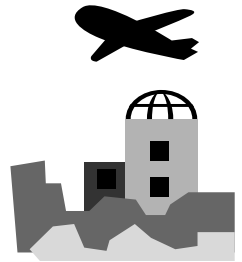
不戦を誓う参加者たちは一心にめい福を祈る

## 改めて不戦と平和誓う

太平洋戦争から58年目の夏。8月6日、戦没者追悼式が英霊塔前で行われました。式には遺族ら約百人が出席し、改めて不戦と平和の尊さを誓いました。

村遺族会中野ミヨ会長が「祖国のために殉じられた

声なき声に心を一つにして、戦火を繰り返すことのないよう世界平和を祈ります」と追悼の言葉を述べたのに続き、参列者全員が参拝。犠牲者百人のめい福を祈りました。



## 口からの悪いにおいは病氣

社会福祉法人普代福祉会（デイサービスセンター主催）では、「口臭」と題して村デイサービスセンターを利用する方々、約三十人を対象に七月から八月に掛けて五日間、村国保歯科診療所長の藤原秀世先生を招いて同センター講話を開きました。同福祉会は、特別養護老人ホームうねとり荘の入所者を対象に口腔衛生指導も十日間実施。

藤原所長は「口から変なおいが出る場合があります。においには悪いにおいとよいにおいがあります。悪いにおいは病氣のにおいです」と語り「歯周病や歯槽膿漏は脳や肺、心臓などの病氣を引き起こします」と、口の中の病氣の怖さについてスライドで、丁寧にわかりやすく話してくれました（写真）。



## 「早めの点灯」願います

交通事故防止を呼び掛ける街頭指導は、八月十一日、夏の交通事故防止県民運動の初日に行われました。

街頭指導は、村交通安全対策協議会長の深渡宏村長、久慈警察署普代駐在所菅場久司警部補ら交通関係機関から約二十人と普代小学校中央区の子ども会（羽場勇也会長、六年生五人が参加。普代郵便局前の信号で停車している下

ライバーや歩行者を対象に、チラシ二百枚とポケットティ



ツシユ二百個を配布して、交通安全を呼び掛けました（写真）。

交通事故防止の街頭指導に、協力してくれた普代小学校中央区の子ども会五人は、「スピードの出しすぎや過労運転などに気をつけてください」と、何度も声を張り上げていました。

村交通安全協議会長の深渡村長は、「歩行者、運転者とも交通ルールをしっかり守り、事故を起こさないよう気を引き締めて交通安全に努めましょう」と訴えていました。